

兵庫 庫 県
保 險 医 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 221

2012年12月5日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三三

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話〇七八(三九三)一八〇一

医療への安全意識を高めよう!

「医療安全管理対策」加古川・高砂支部第31回総会

加古川・高砂支部は11月

10日、加古川商工会議所で第

31回総会を開催。記念講演「医

療安全管理対策」医療安全対策

に必要な基礎知識」を開催し、

医師、歯科医師、看護師、スタッ

フら64人が参加。高砂市民病

院医療安全管理者で看護師の玉

田めぐみ氏が講演した。

総会議事では、2011年度

支部活動報告案と2012年度

同活動方針案が採択された。支

部役員改選では、支部長に岡部

桂一郎先生(高砂市)が再任さ

れた。

記念講演では、玉田氏が、高

砂市民病院での医療安全の取り

組み状況をはじめ、リスクマネ

ジメントの概念、ヒューマンエ

ラーを防止するための組織的な

対策、外来で起こりやすいヒヤ

リ・ハット事例など医療安全管

理対策の基本的な考え方や具体

的な対応策などについて、自己

診断テストなど実技も交えてわ

かりやすく解説。

この中で、患者の安全管理を

優先するという理念に基づく患

者安全管理(セーフティマネジ

メント)を考慮した上で、医療

リスクマネジメントとは、おこっ

た間違いによる損害を出来る限り

なくすことだと述べた。

また、ヒヤリ・ハット事例が発

生する背景として、コミュニケー

ションエラーが潜んでいるとし、

コミュニケーションの重要性につ

いても言及した。

まとめとして、患者の安全を守

ることが医療施設の信頼につな

り、医療施設を守ることになるこ

と、また、医療への安全意識を高

め、リスク感性を育てるためには、

組織的に取り組むことが必要であ

ると述べた。



記念講演には64人が参加

加古川・高砂支部 研究会&懇親会のご案内

日時 2月23日(土) 午後4時~7時

□支部研究会 午後4時~5時30分

□懇親会 午後5時40分~7時

会場 加古川プラザホテル 2階「瀬戸の間」

講師 神戸女子大学講師 阿江 善春 先生

参加費 無料(支部研究会のみの場合)

懇親会費 5,000円

※支部研究会のみの参加も可能です

お問い合わせは、協会事務局 電話:078-393-1803

印協 加保協 払える保険料に！国民健康保険料 社会保障施策の拡充・改善を求めて二市二町と懇談

加古川・高砂支部が加盟している加印社会保障推進協議会(会長・岡部桂一郎支部長、略称・加印社保協)は、加印地域二市二町と事前に提出した「社会保障施策についての要望書」に基づき懇談を行った。

重点要望項目として、主に次の項目について市町の見解を求めた。

①国民健康保険料について、一般会計より繰入金を増やし、払える保険料にすること

②後期高齢者医療制度について、保険料の滞納を理由とした差し押さえは行わないこと

③特別養護老人ホームなど施設・居住系サービスを大幅や増やし、入所待機者を解消すること

④県立こども病院のポートアイランドへの移転計画を撤回するよう兵庫県に意見を具申すること

懇談の中では、当局より下記のような回答があった。

【国民健康保険料について】

①について、「平成23年度予算以降、一般会計繰入金を増額している」(高砂市)、「平成22年度以降は据え置いている」(播磨町)と回答する一方、「医療費の増大や本市の厳しい財政状況の中、現状が精一杯であり、これ以上の繰り入

を位置づけていると回答。行き場のない高齢者をなくすため、早急に整備するよう求めたところ、「整備を急ぐと介護保険料の大幅な上昇につながり、施設側もマンパワーを確保できない」(加古川市)と介護保険制度の矛盾点が浮き彫りとなった。

【県立こども病院について】

答。相次ぐ国庫負担の削減により、自治体の財政状況が疲弊し保険料が高額になっていることについても、「現状では国に要望する予定はない」(稲美町)などとした。

【後期高齢者医療制度について】

②については、播磨町が「差し押さえは、実施していない」としたが、「生活状況を把握し、無理のない納付計画に基づいて納付をお願いしている」(高砂市)など高齢者の生活困窮者に差し押さえを行っている実態が明らかになった。

【県立こども病院について】
 ④については、各市町とも「高度専門医療の提供に必要な面積の確保、他の総合型医療機関との連携による医療機能の向上、アクセシブルな環境条件の確保を図るなどの総合的検証の結果により選定されており、大震災等の災害への対応も適切に講じていくことから、兵庫県に意見を具申する考えはない」などと県追随の姿勢に終始した。

【介護保険・高齢者施策について】

③の介護施設・居住系サービス等の整備については、各市町とも介護保険事業計画の中で整備計画

参加者からは「厳しい雇用情勢のもと医療機関にかかれない人が増えている。国保法44条の窓口一部負担金の減免制度を使える制度に改善して欲しい」などの声が出された。



播磨町との懇談 (11/1)



高砂市との懇談 (11/6)



加古川市との懇談 (11/7)



稲美町との懇談 (11/21)